

SSKP

第106号

はれのちくもり

ピラス通信別冊第29号

はれのちくもり別冊ピラス通信では、就労移行支援事業所ピラスの訓練やイベントを中心に、多摩棕櫚亭協会の「働く」ことに関する情報を皆様に発信していきたいと思っております

緊急 特集：官公庁の障害者雇用水増し問題

問題となった障害者雇用のしくみについて、皆さんどれくらいご存知でしょうか？

今回の中央省庁を中心とした障害者雇用水増し問題を考えるために、障害者雇用制度について少し整理してみました。

①障害者雇用とは？

障害者の求職には、一般雇用と障害者雇用があります。障害者雇用は「障害者雇用促進法」という法律に基づき進められています。これは、障害者の雇用義務等に基づく雇用の促進等のための措置、職業リハビリテーションの措置等を通じて、障害者の職業の安定を図ることを目的としています。また、この法律では、一定規模以上の企業に対し、法定雇用率とよばれる一定比率以上の割合で障害者を雇用することが義務付けられています。

障害者雇用率制度では、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所有者を、実雇用率の算定対象としています（短時間労働者は原則0.5人でカウント）。

民間企業は毎年6月1日時点の障害者の雇用に関する状況をハローワークに報告する義務があります。

②（今回問題となった）法定雇用率とそれに伴う障害者雇用納付金制度とは？

◆「法定雇用率」◆

現在、障害者雇用促進法では法定雇用率は下の表のようになっています。（民間企業では）従業員45.5人以上の事業主が対象となっています。具体的には45.5人以上雇っている企業は、障害者を1人以上雇用しなければなりません。民間企業より公共機関の法定雇用率は高く定められています。公共機関にはハローワークへの報告義務はありませんが、今回内部調査で雇用率が水増しされていたことがわかりました。

◆「障害者雇用納付金制度」◆

障害者を雇用するには、作業施設や設備の改善、特別の雇用管理等が必要となるなど障害のない人の雇用に比べて一定の経済的負担を伴うこともあり、「障害者雇用率制度」に基づく雇用義務を守っている企業とそうでない企業とでは、経済的負担のアンバランスが生じます。

障害者の雇用に関する事業主の社会連帯責任を図るという観点から、この経済的負担を調整するとともに、障害者の雇用の促進等を図るため、事業主の共同拠出による「障害者雇用納付金制度」が設けられています。

法定雇用率を未達成の企業のうち、常用労働者100人超の企業が、障害者雇用納付金（一人当たり月5万円）の徴収対象です。公共機関にはこの制度はありません。この納付金を元に、法定雇用率を達成している企業に対して、調整金、報奨金を支給します。また、障害者を雇い入れる企業が、作業施設・設備の設置等について一時に多額の費用の負担を余儀なくされる場合に、その費用に対し助成金を支給します。

区分	法定雇用率	
	(平成30年4月より)	(平成33年4月までに引き上げ)
民間企業	2.2%	2.3%
国・地方公共団体等	2.5%	2.6%
都道府県等の教育委員会	2.4%	2.5%

「障害者雇用水増し問題」に関する緊急メンバーアンケート

今回の「障害者雇用水増し問題」を、今後就労を目指しているピアス利用者の方々がどのように考えているか、アンケートの主な意見をまとめました。

質問1 今回、新聞などで取り上げられている中央省庁による障害者水増し問題についてどのような意見をお持ちですか？

- 率直に憤りを感じている。働きたい人、働ける能力がある人が多くいる中で、しかも国がそういった対応していることがショックでならない。
- 障がいを持っている人たちが一生懸命に働いているのに、気持ちを踏みにじっているとしか思えない。障がいの特性などで水増し問題を知らないまま過ごしている人もいるから心苦しいし、国が人権を尊重する条約「**働ける権利があること**」を結んでいるのに、尊重されてると思わなくなる。
- 今回の問題は、黙殺されてきた不正が明るみになるメディアへと仕組みが変わってきたことのシンボリックな事件だと思った。
- 身の周りだったり、ネットだったり入ってくる情報の中で障害者で中央省庁で働いているというようなものを全く見聞きしたことがなかったので、ずっと疑問に思っていました。

質問2 これからご自身が受けようとしている会社または自分が働いている会社（自分が支援しているメンバーが就職した会社）の障害者実雇用率が何%か知っていますか？

- 知らないです。ちなみにピアスでは、障害者実雇用率は何%なのでしょう？
- 0%（精神）ですが、これからシステムを作って下さる方向で動いています。
- 知ってます。ただ、数値についてはあまり信用してません。



質問3 今回の水増し問題が、ご自身の障害者雇用にプラスに働くとしたらどんな事が考えられますか？また、マイナスにはたらいた場合どんな事を心配されますか？

- プラス** : 障害者雇用の理解が進み、求人が増える。

マイナス : 実際に「健常者にうらやましがられる」という話を耳にしたことがあります。

- （あまりプラスになるようには思えないが、）今回の水増し問題を受け止め、企業側が少しでも障がい者雇用を検討してほしいと願っている。

障がい者雇用が減るのではないか。→世間では障がいを理解してくれる人もいるが、どのように接したら良いかわからない人や偏見する人たちが増えないと良いなあと思う。（国が水増ししたことで、意見として結びつくかは分かりませんが）

- プラス**→中央省庁で働けるかもしれない。あと他の水増し問題も発覚して、障害者雇用が増える。

マイナス→民間企業がふてくされて、障害者雇用率が下がる。

- それを考えて、実践して、結果を出して行くのは支援者の役割だと思います。
- この問題を機に障害者雇用に社会の目が向けば、プラスに働く可能性もあると思います。一過性のもので終わらないことを願っています。

アルジャジーラの方へのインタビュー

日本の官公庁障害者雇用水増し問題を受け、中東のテレビ局アルジャジーラがピアスに取材に来られました。彼らの取材の意図など、ピアス通信員も負けじと逆取材しました。

Q1. 今回、日本の障害者雇用水増し問題を取り上げようとした理由について教えてくださいませんか？

2020年に東京で障害者のスポーツの祭典であるパラリンピックといった非常に大きなイベントを開催していくなかで、日本は「障害を持つ人と持たない人がお互いに共生していくためにどのように向き合おうとしているのか」、「どういった課題に向き合おうとしているのか」、ということを考えました。どういった視点で共生社会の課題と展望について取材を進めるか検討している時に水増し問題が起きました。推進する側であるその政府の中核のところ、そういったことが起こったということは、多くの障害を持った方がすごく衝撃を受けたことだと思ひ、直接関る支援者や、当事者の方たちの意見をぜひ知りたいと思ひ、今回、番組でも取材することにしました。

Q2. 日本と海外での障害者に対する社会の取り組みや共生に対する感じ方の違いはありますか？もし、あれば具体的に教えてくださいませんか？

私はオーストラリア出身なのでオーストラリアとの比較になりますが、オーストラリアでは社会全体で障害を持った人達の事を考える、といった、社会全体の取り組みがあるように思われます。そういった動きの中で特にアスリートやコメディアン、俳優といった著名な人達が、啓蒙的な役割を担うことで障害者への理解が浸透しています。

今回の取材で感じていることなんですが、まだ日本では社会全体で共生していくために皆で考えようというような意識がそこまで感じられませんでした。そういう意味では、共生していくための道のりの途中にあるのかなという印象を受けました。そして、オーストラリアでは、障害を持った方々を大きな施設に住んでもらうという考えから、より地域生活に受け入れていくという自然の流れができていないかと考えています。

そして、漠然とした印象なんですが、政府がお金をどういったところに使うのかということとか、雇用に関してはどういった支援をするかといった点でよりオーストラリアの方が力を入れている印象を受けます。どうやったら共生できるのか、またどうやったら障害を持つ人持たない人が共に働いていくことができるのかということをおーストラリアは力を入れているような気がしました。

Q3. ピアスのような日本の障害者のための就労訓練どのような印象をもたれましたか？何か感想がありましたら教えてくださいませんか？

まず最初の印象は、本当に温かくフレンドリーな環境であるということが第一印象です。そして、実際に皆さんが訓練を受けている所にいると、本当の職場のような緊張感とか、そういった雰囲気か漂っているのを感じました。特にキッチン(厨房)の中では、本当にどこかの(お店の)厨房にお邪魔したような、そういった雰囲気が感じられました。

そして、小林理事長にお話をうかがいましたが、ここでトレーニングをされている方の一人一人について、とても深い理解されている方だなという印象を受けました。そして、利用者の方、メンバーの方を深く理解するということは、社会あるいは企業との間に立つといった役割を果たせる方だと思ひました。

＜続きの取材記事は後日、HPに掲載します。

ご覧ください。＞



お知らせ

【くにたち市民祭りに参加します！】

棕櫚亭 I は、**11月4日（日）**に行われる“くにたち秋の市民祭り”に今年もポップコーン屋台を出店します！

くにたち市民祭りは、国立市商工会が毎年開催する3日間のお祭り“天下市”の最終日に合わせて行われています。天下市の期間には、国立駅から大学通り沿いに数多くの屋台が並び、毎年たくさんのお客さんでにぎわいます。

今年は、棕櫚亭 I とピアスのメンバーもポップコーン作りや販売を手伝ってくださいます。例年の賑わいに負けないよう、皆で頑張ります！

ぜひ、ピアス卒業生の皆さん、関係者の方々もお時間の許す限り、遊びに来ていただければと思います！



今年も頑張ります！



編集後記

- 二回目業務体験をさせていただいて前回よりも早く正確にこなすことが出来ました。（メンバー S）
- 今回慣れないながらも時間をかけて校正作業を担当させていただきました。不慣れな業務でしたが周囲のスタッフ、メンバーのサポートがあり遂行できました。ありがとうございます。（メンバー M）
- P.2のメンバーのアンケートにもありましたが、これまで国の障害者雇用の実績については大きく扱われることはありませんでした。今回の問題で、非常に残念な実体が明らかになり、ピアスメンバーからも怒りや落胆の様々な声が聞かれました。障害者雇用促進法が改正された現在、今後も障害者の幸せ実現の一つである雇用制度が後退することの無いように、このような紙面で声を挙げていきたいと思いました。

（ピアス職員 S）

法人ウェブサイトでは
最新の情報をお届けしています。

⇒ www.shuro.jp

『棕櫚亭』で検索！

【編集】 国立市富士見台1-17-4

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

就労移行支援事業所ピアス内

はれのちくもり編集委員会

Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102

Tel 03-6277-9611

【定価】 100円